# むくのき学園（啓発小学校）

施設一体型小中一貫校

| | |
|---|---|
| 所在地 | 〒533－0033<br>東淀川区東中島４丁目８番38号 |
| 電話番号 | 06－6322－0120 |
| FAX | 06－6322－1394 |
| 校長名 | 古田　晃久 |
| 開校年度 | 平成26年度 |

## ◆学校からのメッセージ…「学び」「育ち」の新しいスタイルがここにある

本学園では今までの啓発小学校及び中島中学校が築いてきた成果と課題から、教育活動の基本方針を、**小中一貫教育の強みを最大限に生かす中で『ちがいを認め合い個性や能力を伸ばす教育の推進』　～「感謝」「誠実」「寛容」の精神の尊重～**　としました。
草創期のビジョンをひきつぎ次の３つの視点で子どもたちの豊かな成長を支えていきます。
＊「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」が実感できる授業づくりをする　≪志学≫
＊「生きる力」の礎となる感性や情操など、豊かな心をはぐくむ　≪共生≫
＊心身の健全な成長をめざし、規律・活力ある集団の育成を図る　≪自りつ≫
私たち教職員は、児童生徒たちが「進むべき路（みち）」を確かなものとするため、保護者の方々のご理解とご協力を得ながら自己研鑽を積み、充実した学習環境の中で、授業力・学校力の向上に努めていく所存です。

むすぶ
くねんかんで
のぞみを
きずきあげる
学園

## ◆運営に関する計画

学校運営の中期目標
◆安全・安心な教育の推進
◆未来を切り拓く学力・体力の向上
◆学びを支える教育環境の充実

本学園では、「９年間の学びの連続性や一貫性を大切にした教育の展開」「ICTを活用した授業内容の充実」「自己有用感をはぐくむ系統的なキャリア教育の推進と進路指導の充実」「公正さや他人を思いやる心、人権を尊重する態度の醸成」「心身の健やかな成長、体力の保持増進をはかる教育の充実」などを実践しながら、目標を達成しようと考えています。

## ◆令和６年度「全国学力・学習状況調査」結果から

本校では、新しい時代に必要となる資質・能力の育成のための言語力の向上をめざした基礎・基本の定着に力を入れています。
国語科を中心に、音読や視写を積極的に取り入れ、学習環境の整備に向けて１年生から「聞き方・話し方、ハンドサイン、声のものさし」などの指導を徹底しています。
小学校・中学校の教員による協働授業も取り入れ、子どもたちの学力の向上を図っています。

平均正答率（%）

| | 国語 | 算数 |
|---|---|---|
| 学校 | 60 | 54 |

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

## ◆令和６年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

学校全体で体育的行事に取り組み、楽しく運動することで生涯にわたり運動に親しむ姿勢を養うことをめざしています。
学級集団作りとも連携した長縄大会や耐寒かけ足週間、かけ足大会など、子どもたちが無理なく、お互いに励ましあいながら取り組めるように工夫して実施しています。
日頃の体育の授業では、ダンスや縄跳びなど様々な種目を取り入れ、お互い協力して取り組むことや、お互いを見あって良いところを伝え合う活動なども取り入れています。
また中学校の部活動に５年生から参加できるので、中学生と一緒に技術や体力の向上をめざすことができます。

種目別平均値

| | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅跳び | ボール投げ | 体力合計点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 15.28 | 17.89 | 30.80 | 37.50 | 35.44 | 9.38 | 146.94 | 19.19 | 49.29 |
| 女子 | 15.50 | 17.91 | 37.29 | 36.19 | 33.70 | 9.65 | 137.14 | 11.76 | 52.11 |

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

## ◆学校行事の内容

小中一貫校である『むくのき学園』では、１年生から９年生（中学校３年生）の全員が集まる行事がいくつかあります。運動会や文化祭も全学年で取り組みます。例年行われる小中合同運動会では、中学生の７～９年生の堂々とした行進の動きに合わせ、元気よく行進しようとがんばる小学生の姿を見ることができます。応援合戦では団長を筆頭に４年生～９年生で構成された赤白の応援団が、小学生だけでは出せない迫力と、息の合った動きを見せてくれたり、赤白の団旗が児童生徒の前を駆け抜けたりすると、さらに一体感が高まります。

## ◆特色ある教育活動①

≪志学≫　グローバル化・情報化時代に必要な学びを追求します
◇９年間で伸ばす英語力
＊小学校１年生から、英語教育を週２回、モジュール学習（朝学習）の時間に行っています。また、小学校段階から希望者は英検に挑戦します。
＊５、６年生の外国語の授業は、小学校と中学校の教員による協働授業を行っています。
◇学び合う環境、能力や特性に応じた教育
＊ICT（情報通信技術）教育やプログラミング教育を充実させています。
＊モジュール学習（朝学習など）にもICT機器を活用し、効率的な反復学習で基礎基本の定着を図ります。
◇教科専門性を活かした授業の充実…（小中学校教諭の相互協力体制）
＊施設一体型の利点を活かし、中学校教員が小学校の授業を担当したり、学びの連続性が重要な教科では、小学校教員が中学校の授業をサポートしたりします。
＊とりわけ、学習へのつまずきや、習熟度に差が早期に生じやすい国語・算数・外国語などの教科では、小学校段階から協働授業や少人数授業を展開するなど、授業形態の創意工夫を図ります。

## ◆特色ある教育活動②

≪共生≫　「生き方」を見つめ、進むべき路（みち）を確かなものにします
◇体験学習を充実させた系統的なキャリア教育
＊４年生からの新「生き方科」（「なりたい自分」に向けてどう生きるかについて考えていく学習）の構築をします。
＊７年生（中学校１年生）からは、キャリアステージに応じて進む路を考えさせ、事業所見学・職業講話・職業体験・高校見学（調べ）・高校体験授業など、９年間で自己有用感・肯定感をはぐくみ、個性が伸長できる進路獲得をさせます。
◇共生社会の実現をめざした、人権・国際理解教育の推進
＊互いの違いを認め合う人権意識の高揚を図る教育や、国際社会を生き抜くうえで、大切な自他の尊重・道徳心を身につけさせます。
＊ユネスコスクールへの登録　　自分たちの学校を世界に発信していきます。

## ◆特色ある教育活動③

≪自りつ≫　「自立」から「自律」へとつながる９年間にします
◇基本的生活習慣の確立のため、きめ細かな指導を展開します
＊「食べて、動いて、よく寝よう」
⇒食育、体力向上、教育相談、生活指導、保健指導などを充実させ、規範意識の醸成を図ります。
◇９年間の縦割り集団ではぐくむ連続性・一貫性
＊小学校５年生からの部活動参加、児童会・生徒会の一体化、学校行事における異年齢集団とのかかわりで、憧れ感や誇りを抱かせます。